

豪雨災害の記録

あつたを形なうたため

600円(税込)

人吉・球磨月刊情報誌

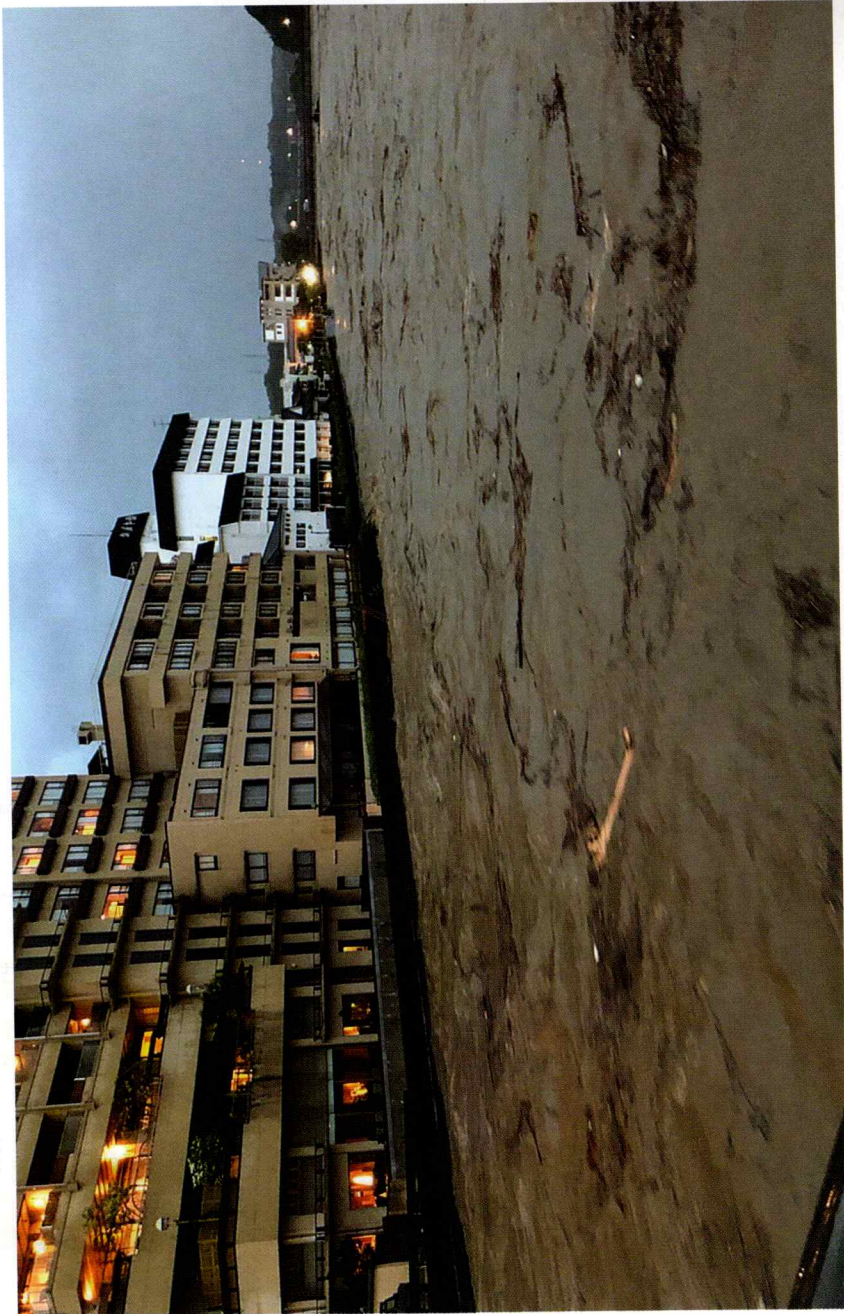
とんぼ

どうぎゃん 豪雨災害の記録

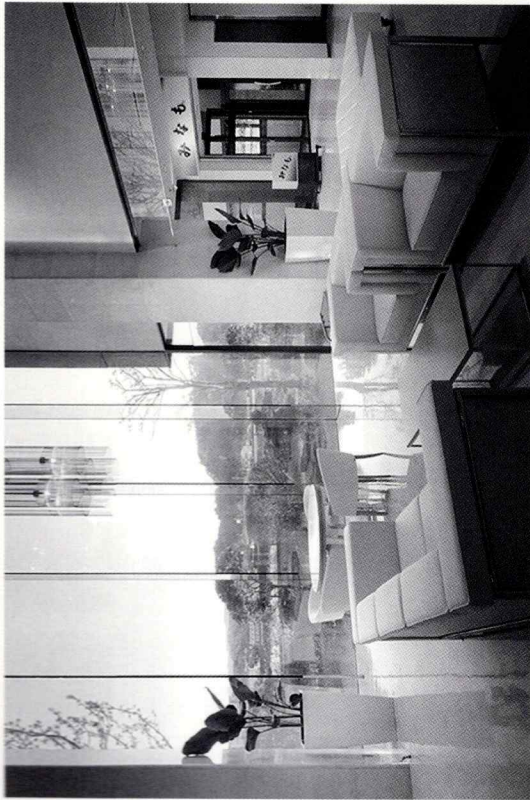
あの日を忘れないために

CONTENTS

- 私たちを襲った豪雨災害 _____ 2
- 編集部災害ルポ _____ 6
- 消防・自衛隊が動いた _____ 26
- 川と生きる 1 _____ 28
- 「私が撮ったあの日、あの時」 _____ 30
- 鉄路を想う _____ 50
- 川と生きる 2 _____ 56
- 変わりゆく街 _____ 58
- 国宝 青井阿蘇神社 _____ 79
- 少しずつ、ともに、前へ _____ 80
- 川辺川ダム建設予定地の上空から _____ 82
- 協賛広告 _____ 84
- 編集後記 _____ 100



令和2年7月4日午前5時40分、大橋から見た球磨川（提供Y.H.）



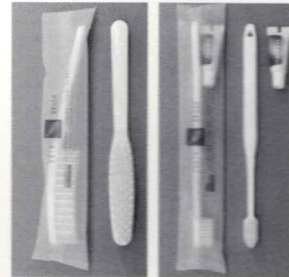
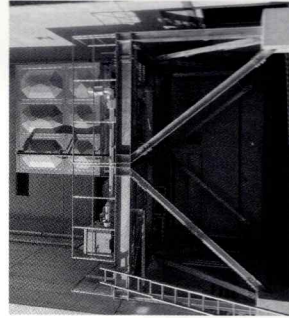
ホテルサン人吉

HOTEL SUN HITOYOSHI

令和2年7月豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
当ホテルも大規模な被害を受け、半年以上にわたり休業を余儀なくされておりましたが、お陰様で令和3年1月11日に営業再開を果たすことができました。専門業者様をはじめ、当ホテルの再建に献身的なご協力、ご支援をいただいた皆様に、衷心より感謝申し上げます。

予想だになかった令和2年7月豪雨でございましたが、被害を実際に被ってこそ味わう人の情けには大変心を打たれ、多くの勇気をいただきました。宿泊及び飲食を提供する社会的役割を持つホテルとして、人吉球磨全体の復興の後押しとなるべく私たちが皆様と知恵や行動、そして思いを一つにして街を再興し、より良い人吉球磨をつくるよう力を合わせて参りたいと存じます。人吉球磨の復興の歩みを応援するためにも、ぜひ実際に訪れてみてください。お待ちしております。

代表 村田 優子



当ホテルでは以前より、昨今の気候変動を憂慮しておりましたが、今回の被災を受けてSDGsの観点からCO₂削減に取り組みました。これまでは、化石燃料である重油を原料としてボイラー2基で温水、暖房をまかっていたところ、地下1階機械室が浸水したのを契機に、ボイラーを撤廃しました。それに伴い、新たに屋外に2階の高さの架台を組み、その上に電気エネルギーとするエコ給湯を設置しました。また客室アメニティもエコ素材のものを採用しています。さらに、社員一同でSDGsの講習会を受け、これから持続可能な社会へ貢献するホテルとして積極的な行動をして参りたいと存じます。



ホテルサン人吉

HOTEL SUN HITOYOSHI

熊本県人吉市上青井町166 電話:0966-22-7741
<https://www.sunhitoyoshi.jp>

みなも

1F和食レストラン

■夕食 (日曜定休)
18:00~21:00
(L.O.20:30)

■朝食
7:00~9:00
(L.O.8:30)
※朝食は予約のみ

古くからこの地の田畑を潤し、独自の文化を育んできた母なる球磨川。
しかし7月4日の朝、記録的な大雨によりその川が氾濫。濁流が家に、田畑に、無慈悲に押し寄せた。
水が引いて現れたのは変わり果てたふさふさだった。

令和2年7月4日 私たちを襲った 豪雨災害

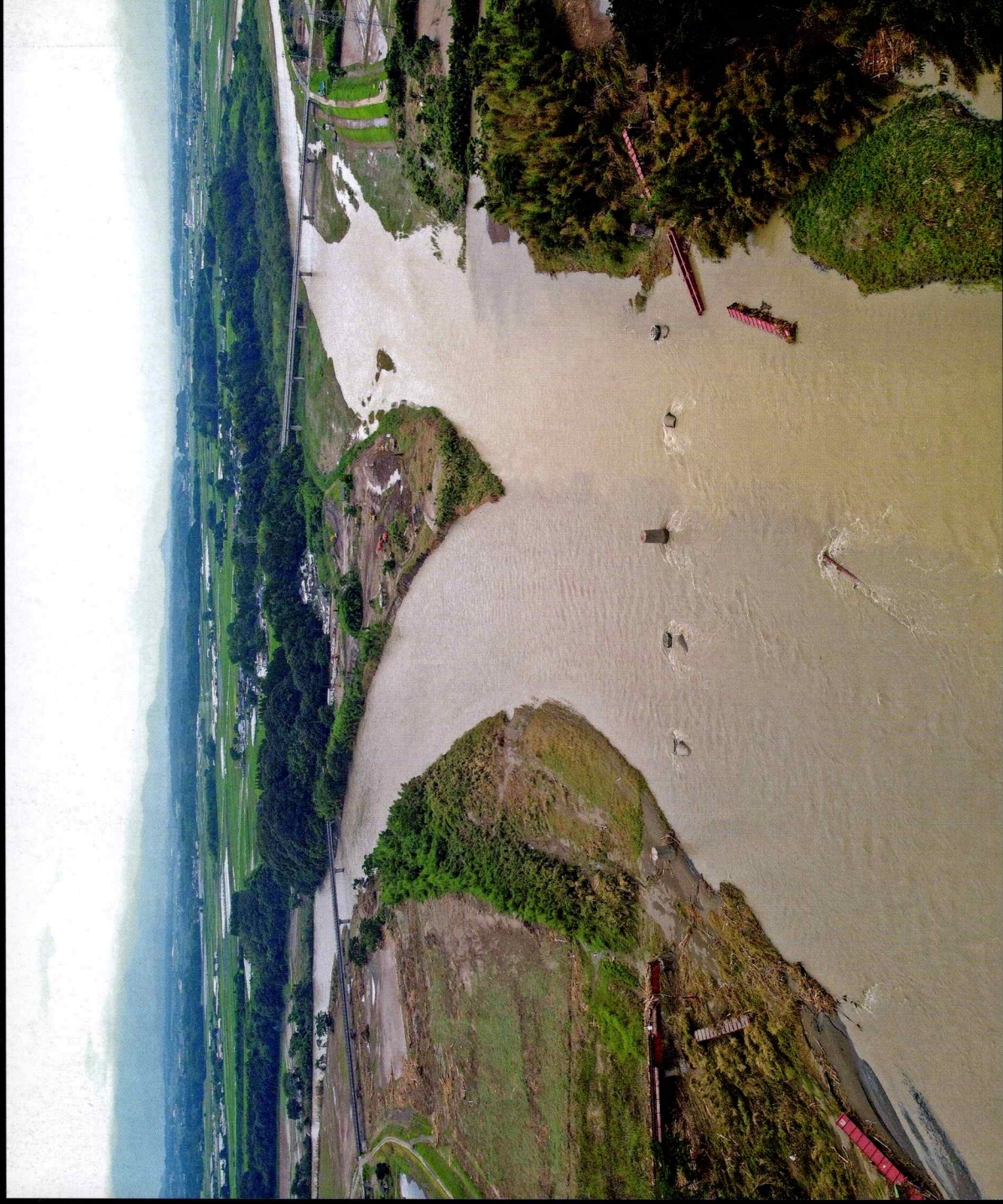


災害から1週間後の球磨村・渡。
右奥が特別養護老人ホーム「千寿園」。左は家屋倒壊が著しい茶屋地区。
球磨川にかかる相良橋(手前)とJR肥薩線の第二球磨川橋梁(奥)も流失した。

被災前

故郷のあの美しい

風景はどこへ…



災害から1週間後の相良村・柳瀬。
球磨川と支流・川辺川が合流する地点。

高校生の足であるくま川鉄道の
球磨川第四橋梁が流出した。

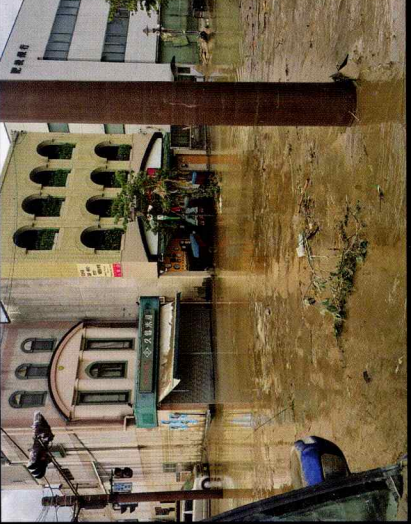
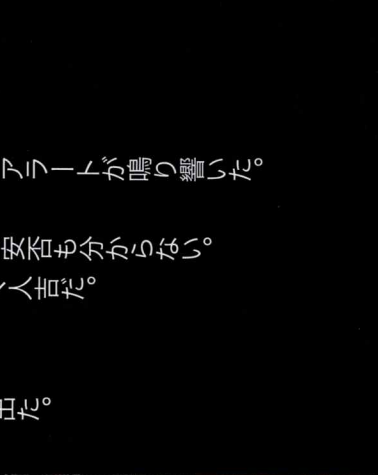
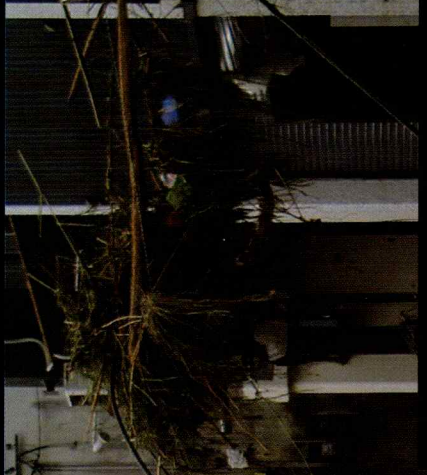
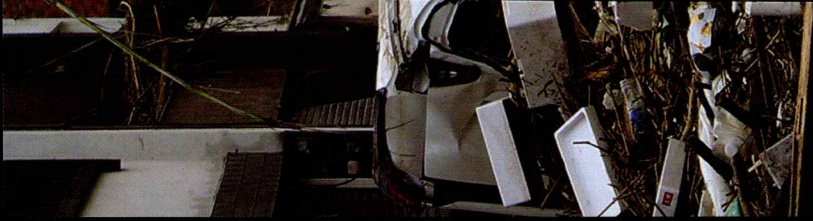
被災前



災害から1週間後の人吉市中心部。

左に見える産交バス人吉営業所では、
バス25台が水没した。

被災前



編集部災害ルポ

とにかく街へ

携帯電話に避難を促すエリアメールが繰り返し届き、アラートが鳴り響いた。
早朝には市長の「すぐに避難を」という防災無線。
ただならぬ不安を感じる。家族、友人知人、スタッフの安否も分からない。
テレビに映るこの泥水に飲まれた街並みは間違いなく人言だ。
頭では理解できるが、とても……とても信じられない。

およそ水が引いた午後3時。ぬかるむ道を歩いて街へ出た。

